

Virginia Woolf

ヴァージニア・ウルフのフェミニズムを、

現代日本に引きつけて捉える読者が増えている。

彼女のフェミニズムはどこから来たのか。

どんな特色があり、なぜ現代の私たちに響くのか。

ウルフの『自分ひとりの部屋』『三ギニー』『幕間』などの訳者である、

片山亜紀氏に語っていただく。

ヴァージニア・ウルフの フェミニズム

現代日本との呼応

報告：片山亜紀（獨協大学）

司会：板井広明（お茶の水女子大学 IGS）

10/12 (月) 18:00-20:00

